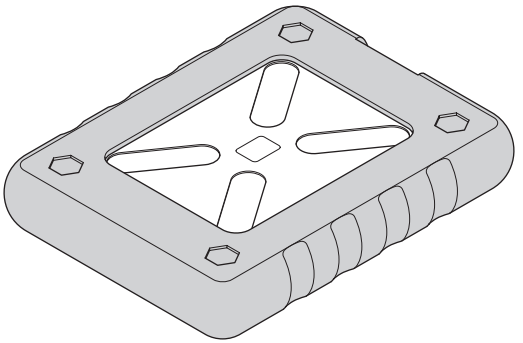
Century Corporation User's Manual

# シンプルプロテクションBOX 2.5

CSSP25U3S6G

# 取扱説明書



CENTURY

CSSP25U3S6G Manual 2015/03/06

# もくじ


**ごあいさつ** 4

**はじめに** 5

■安全上のご注意…… 5
■制限事項…… 10
■ご使用の前に…… 11

**本製品の特長とご注意** 12

■防塵・防滴機能…… 12
■耐衝撃機能…… 13

**製品仕様** 14

■本体仕様…… 14

**製品内容** 15

■セット内容の確認 …… 15

**各部の名称** 16

**対応情報** 18

■対応OS …… 18
■対応HDD/SSD …… 18
■対応機種…… 19

**HDD/SSDの組み込み方法** 20

■HDD/SSD接続の前に …… 20
■HDD/SSDを本体に組み込む …… 21
■7mm厚のHDD/SSDを本体に組み込む場合 …… 26

**PCとの接続方法** 27

**トラブルシューティング** 28

**FAQ** 31

**巻末付録**

■領域の確保とフォーマット…… 巻末付録2
■ハードウェアの取り外し手順…… 巻末付録8
■Mac OS での使用方法 …… 巻末付録10
■サポートのご案内…… 巻末付録14

# ごあいさつ

このたびは「シンプルプロテクションBOX 2.5」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

## 安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

**■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。 |
| ⚠注意 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 注意指示事項 | | 禁止(禁止行為) |
| | 分解禁止 | | 濡れた手での接触禁止 |
| | 水濡れ禁止 | | 電源プラグを抜く |
| | 接触禁止 | | ケガに注意 |

## 安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

### ⚠警告

**煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない**

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

**機器の分解、改造をしない**

機器の分解、改造をしないでください。
内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。
点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**機器の内部に異物や水を入れない**

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

**不安定な場所に機器を置かない**

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。

**電源の指定許容範囲を超えて使わない**

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。
定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

## ⚠警告

### 電源コード、接続コードに関しての注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。
被膜が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。

### 雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

### ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

### 体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。
機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

## 安全上のご注意〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

### ⚠注意

**設置場所に関しての注意事項**

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

## ⚠注意

**長期間使用しない場合は接続コードを外してください**

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。

**機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください**

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

**小さいお子様を近づけない**

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

**静電気にご注意ください**

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

## 制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。できるかぎり離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は2.5インチSATA（シリアルATA）HDD/SSD接続専用です。PATA（パラレルATA）HDD/SSDは接続できません。

## ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- Apple、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載の各商品、および製品、社名は各社の商標または登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。
- 本書の記載内容は、2015年2月末現在のものです。

**静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。**

**◆SATA HDD/SSDの取り扱いについて**

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。

SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

# 本製品の特長とご注意

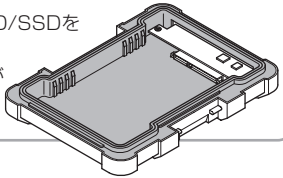
## 防塵・防滴性能

### 水やホコリからHDD/SSDを守る！

ABS製シェル ＋ シリコンインナー

**IP54** に準拠した
**防塵・防滴性能**

◉厚みのあるABS製シェルが、大事なHDD/SSDをしっかりガード！
◉シリコンインナーとUSBコネクタキャップがホコリや水滴の浸入を防ぎます。



### ■IP54に準拠した防塵・防滴性能

IP値は防塵性能・防水性能に関する保護等級です。
本製品は、IP性能テストで以下のレベルをクリアしています。

**防塵性能 IP5X**

機器の所定動作および安全性を阻害する量の塵埃(じんあい)が入らない。

**防滴性能 IPX4**

水の飛まつ(あらゆる方向からの噴霧)に対して保護する。

※非動作、USBケーブル未装着の状態に限ります。
　ケーブル接続、動作時には、水気やホコリを避けてご使用ください。
※すべての状態において無破損、無故障、防滴性能を保証するものではありません。
※本製品はIP54相当の防塵、防水機能を有しますが、水中や粉塵の中での使用は想定していません。
　通常保管時は、なるべく水気やホコリを避けた冷暗所にて保管していただくようお願いいたします。

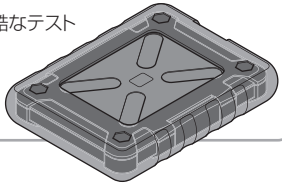
## 耐衝撃性能

### 万一の落下からHDD/SSDを守る！

専用シリコンジャケット

# MIL-STD-810G に準拠した 耐衝撃性能

◉50Gの衝撃を3方向から18回与える過酷なテストをクリア！
◉122cm落下試験もクリアした、高い耐衝撃性能を備えます。



### ■MIL-STD-810Gに準拠した耐衝撃性能

MIL規格は、米国防総省（DoD）が制定する米軍の物資調達に必要な基準を定めた規格の総称で、その中でも工業製品の環境耐性を示す試験方法をまとめたものが「MIL-STD-810G」になります。
本製品はMIL-STD-810G試験のうち、以下の耐衝撃性のテストを行い、その基準をクリアしています。

| | |
|---|---|
| **落下試験** | MIL-STD-810G method 516.6 procedure IV-transit drop |
| **試験方法** | 122cmの高さから26方向（各面、角、辺）にて厚さ2インチの合板上に落下させる。 |

| | |
|---|---|
| **衝撃試験** | MIL-STD-810G method 516.6 |
| **試験方法** | 軸1方向あたり50Gの衝撃を3回（合計18回）を与える。 |

※本製品は耐衝撃性能を有していますが、高所からの落下等激しい衝撃が加わった際、中のHDD/SSDに全く影響が出ないとは限りませんので、保管時は不要な振動や衝撃を避けて保管していただくようお願いいたします。
※耐衝撃の機能は非動作時に限ります。通電、動作時には衝撃を与えないようにご注意ください。
※耐衝撃性能については、ケースの表面などに傷がつかないことを保証するものではありません。
※すべての状態において無破損、無故障を保証するものではありません。
※MIL-STD-810Gは試験方法のひとつであり、本製品は軍事利用を目的として製造された製品ではありません。

# 製品仕様

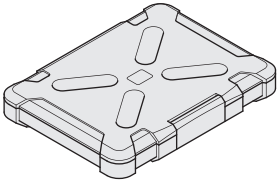
## 本体仕様　※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

**■商　　品　　名**：シンプルプロテクションBOX 2.5
**■型　　番**：CSSP25U3S6G
**■インターフェイス**
**〈デバイス側〉**：SATA Ⅰ/Ⅱ/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
**〈ホ ス ト 側〉**：USB3.0（UASP対応）
**■USBコネクタ形状**：Micro Bタイプ
**■重　　量**：約260g（専用シリコンジャケット含む、ケーブル含まず）
**■寸　　法**：幅112mm x 高さ25mm x 奥行き147mm
（専用シリコンジャケット含む、突起部含まず）
**■温　　度**
**〈保管時〉**：−40℃～85℃（HDD/SSD含まず）
**〈動作時〉**：5℃～45℃
**■湿　　度**
**〈保管時〉**：20%～95%（HDD/SSD含まず）
**〈動作時〉**：20%～85%
（結露なきこと、接続するHDD/SSD、PCの動作範囲内であること）

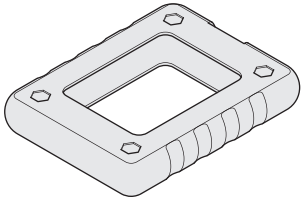
# 製品内容

## セット内容の確認

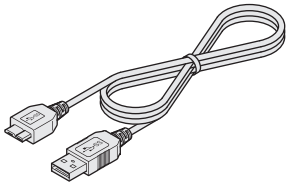
□CSSP25U3S6G 本体



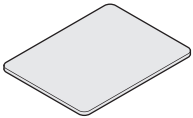
□専用シリコンジャケット



□専用USB3.0ケーブル
（Standard A-Micro B）



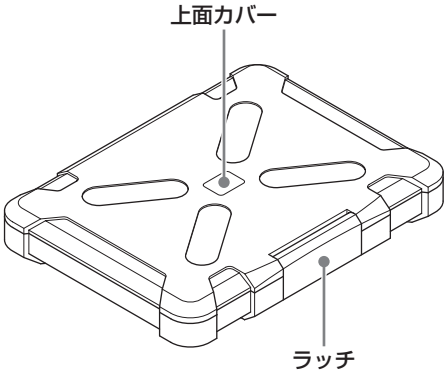
□7mm厚HDD/SSD用
スペーサーパッド



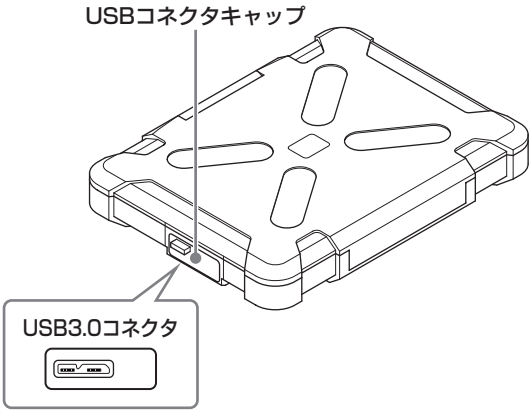
□取扱説明書/保証書

# 各部の名称

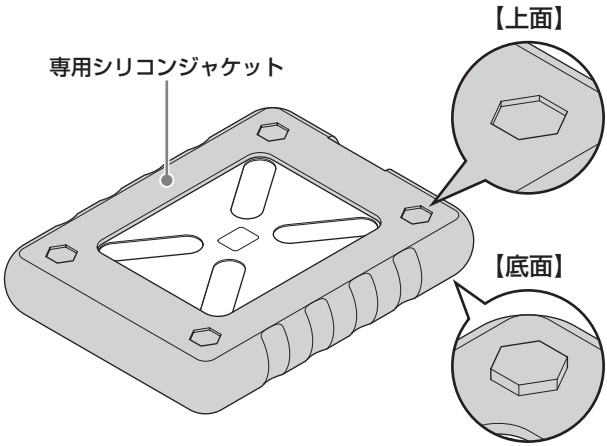
〈上面〉



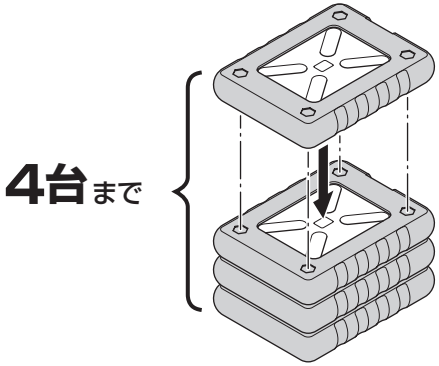

〈背面〉



〈専用シリコンジャケット装着時〉




～スタック（積み重ね）の例～



# 対応情報

## 対応OS

### 【Windows】

■Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート外となります。

※Starter Edition、Embedded Editionはサポート対象外となります。

### 【Mac】

■Mac OS 10.10.2/10.9.5/10.8.5/10.7.5

## 対応HDD/SSD

■5V駆動 7mm/9.5mm厚2.5" SATA HDD/SSD
(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA(IDE)HDDは接続できません。

※本製品はSATA 6Gbps HDDに対応していますが、ホスト側の転送速度がUSB3.0のため、最大転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

※SAS(Serial Attached SCSI)HDD/SSDは使用できません。

※1.8インチ、ZIFコネクタ、Micro SATAコネクタ、PCIe接続、3.3V駆動、12V駆動およびSATA接続以外の特殊形状HDD/SSDは使用できません。

※本製品は2.5インチHDDの形状を基準に設計されておりますので、上部カバー等が通常の2.5インチHDDと異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

※HDD/SSDの取り付け、取り外しを行う際にHDD/SSDに傷がつく場合がございます。

## 対応機種

### 【Windows】

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
■USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
■CPUクロック 2GHz/メインメモリ2GB以上
※intelチップセット搭載モデル推奨

### 【Mac】

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したintel Mac
■USB2.0インターフェイスポートを搭載したintel Mac
※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。
※USB3.0での動作はUSB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。
USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

**動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス**

- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- Frescologic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS(NEC) μPD72020x USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。
従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0（480Mbps）になります。
※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

**◆本製品からのOS起動に関して**
本製品はOS起動には対応しておりません。あらかじめご了承ください。

**製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。**

# HDD/SSDの組み込み方法

## HDD/SSD接続の前に

★HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

★本製品の構造上、HDD/SSDの取り付け、取り外しを行う際に、HDD/SSDに傷がつく場合がございます。
HDD/SSDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDD/SSDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。
HDD/SSDの出し入れはゆっくりと静かに行い、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱いください。

**本製品は 2.5インチSATA HDD/SSD専用 です。**
**IDE(PATA)HDD/SSDは接続できません。**

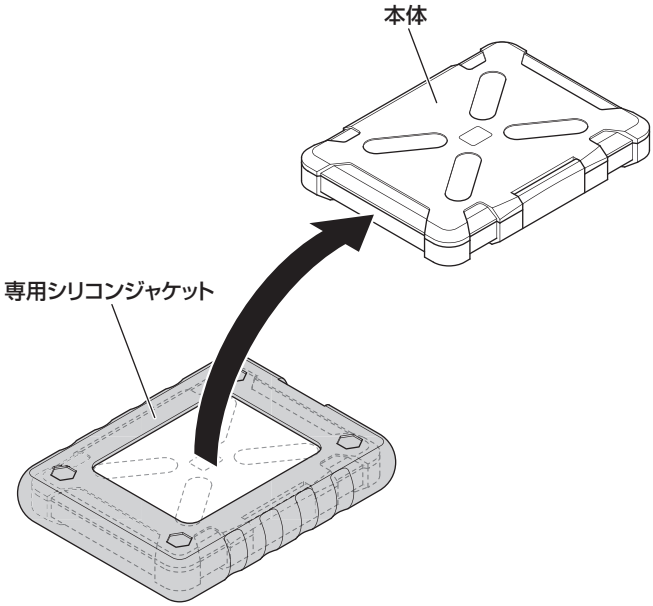
注意

警告

本製品のケースや基板、HDD/SSDの基板面、コネクタやエッジ等で手を切らないよう、十分ご注意ください。

## HDD/SSDを本体に組み込む

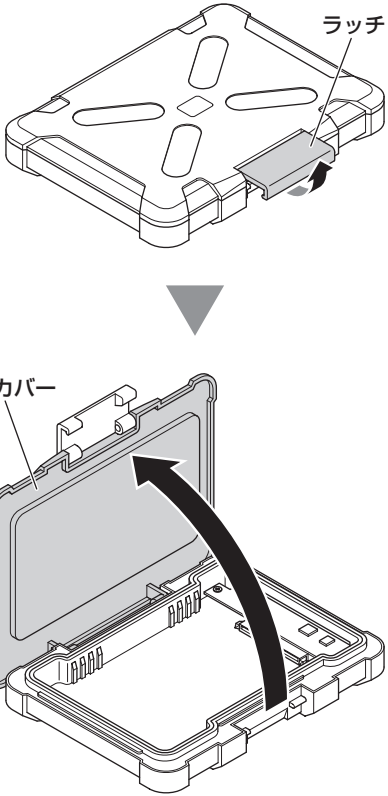
❶本体から専用シリコンジャケットを取り外します。



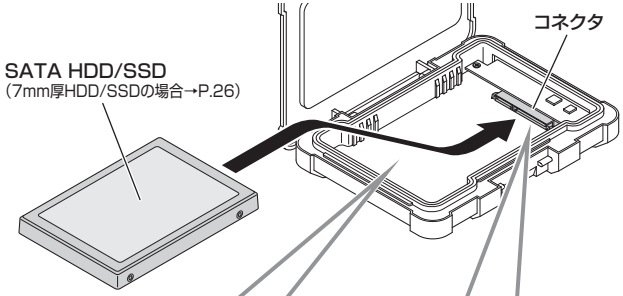
# HDD/SSDの組み込み方法

## HDD/SSDを本体に組み込む（つづき）

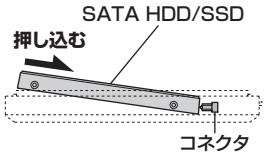
❷ラッチを外して上面カバーを開けます。



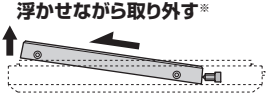
❸本体にHDD/SSDを取り付けます。
差し込む際、HDD/SSDの向きにご注意ください。




**取り付け**



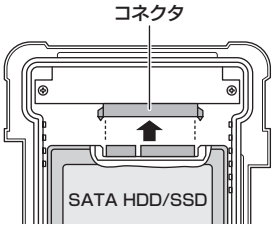

**取り外し**




※あまり大きく浮かせないでください。
双方のコネクタに負担がかかります。

**⚠警告**

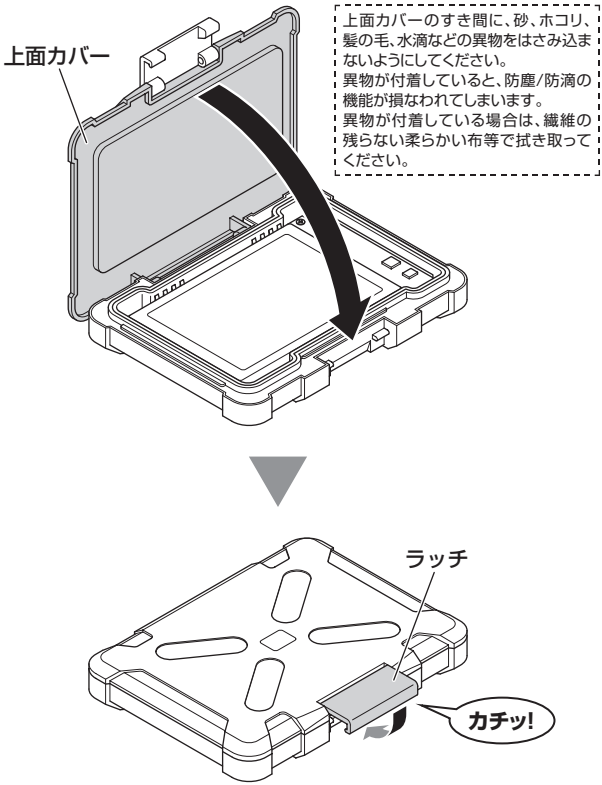
HDD/SSDをコネクタに中途半端に差し込んで通電すると、HDD/SSDや基板が破損します。
間違いなく、奥まで正しい位置に接続してください。



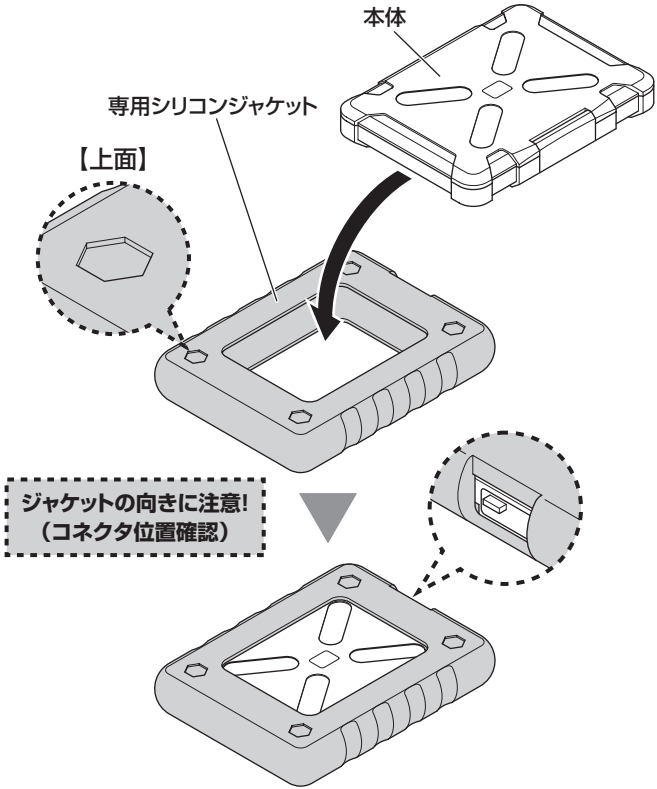
# HDD/SSDの組み込み方法

## HDD/SSDを本体に組み込む（つづき）

❹上面カバーを閉め、ラッチをかけます。



❺本体に専用シリコンジャケットを装着して完成です。

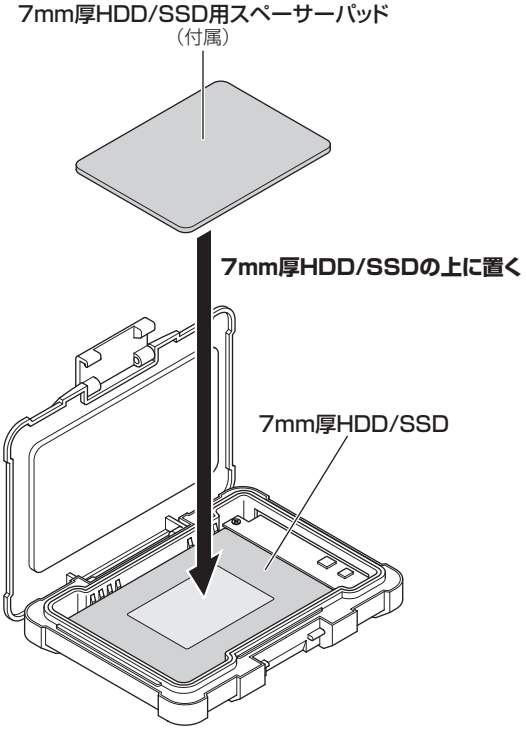



※HDD/SSDを取り出す際は、逆の手順をたどってください。

# HDD/SSDの組み込み方法

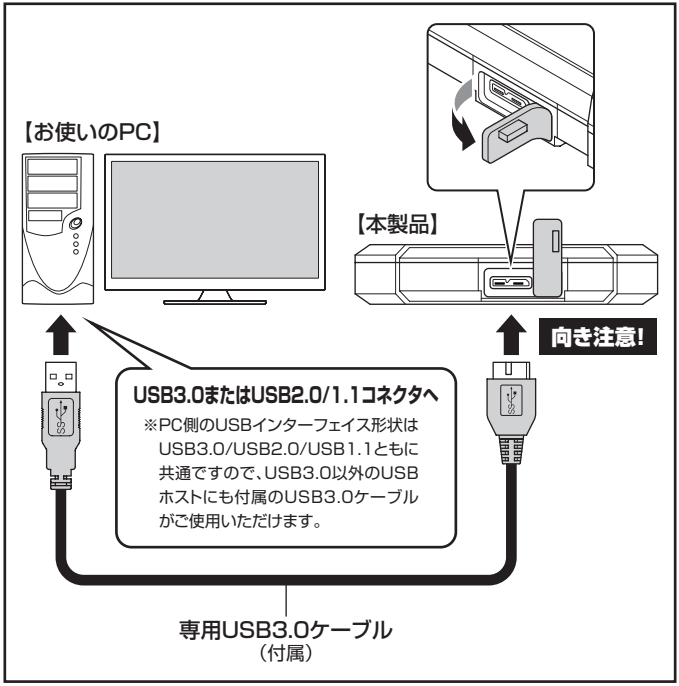
## 7mm厚のHDD/SSDを本体に組み込む場合

本製品に7mm厚のHDD/SSDを組み込む場合、HDD/SSDの上に7mm厚HDD/SSD用スペーサーパッド(付属)を上に置いてご使用ください。



# PCとの接続方法

付属のケーブルを使用し、下図のようにPCと接続してください。



# トラブルシューティング

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

**■認識されない。**

以下をお試しください。
- HDD/SSDが正常に差し込まれているか確認する。
- USBケーブルが正常に接続されているか確認する。
- USB3.0ホストが正常に動作しているか確認する。

**■HDDを入れると上面カバーが閉まらない。**

HDDの厚みが9.5mmまたは7mmであるかをご確認ください。
12.5mm厚のHDDは本製品ではご使用になれません。
また、ノートパソコンから取り外したHDD等の場合、ノートパソコンに固定するためのマウンタ(固定器具)が取り付けられていないかをご確認ください。

**■HDDが回転している音がしない。**

配線が正しく接続されているかご確認ください。
また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

**■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない。**

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。
スリープ、スタンバイ、休止状態にする前に取り外しを行ってください。

■PCMCIA、ExpressCardのUSBカード経由で動作しない。

PCMCIA、ExpressCardのUSBカードでは電力が不足してしまいます。
PCMCIA、ExpressCardのUSBカードに電力を補強するACアダプター等がある場合、ACアダプターを接続してご使用ください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない。

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Mac OS での使用方法】をご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。

**• Windowsでお使いの場合**
→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。

**• Macでお使いの場合**
→巻末付録10【Mac OS での使用方法】をご確認ください。

■本製品からOSが起動しない。

OS起動はサポートしておりません。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう。

USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。
ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

# トラブルシューティング

**■HDDの回転が不安定、または回転しません(USB2.0、HDD使用時)。**

USBハブなどを経由して接続を行っていませんか？
バスパワータイプのUSBハブを経由すると電力不足になり、動作しない場合があります。
PCのUSBポートに直接接続して、動作をご確認ください。

**■500GBのHDDを接続したのに、認識される容量が465GB程度になってしまう。**

計算方法の違いはないか、ご確認ください。
ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を
**• 1MB = 1,000,000バイト**
で計算した値で示しています。
それに対し、パソコン上では、
**• 1KB = 1024 バイト**
**• 1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**
**• 1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**
と計算します。
たとえば500GBと表示されているドライブの場合、これを換算してみますと、
**• 500,000,000,000 ÷ 1,073,741,824 = 約 465.66 GB**
となり、35GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。
このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

# FAQ

**Q. どんな形式のHDDが接続可能ですか？**

A. 2.5インチサイズのシリアルATA(SATA)HDDが接続可能です。
パラレルATA(IDE)のHDDは接続できません。

**Q. 着脱可能回数は何回ですか？**

A. 本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

**Q. 他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？**

A. 基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

**Q. 30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません(Windows)。**

A. HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。
フォーマットを短時間で完了させたい場合は、「クイックフォーマット」を選択してください。
詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

# FAQ

**Q. Windows ServerやLinuxで動作しますか？**

A. サポート対象のOSとしては、
**●Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista**
**●Mac OS 10.10.2/10.9.5/10.8.5/10.7.5**
を対応OSとしています。
それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

**Q. S.M.A.R.T情報が表示されません。**

A. S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。
弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

# 新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

●領域の確保とフォーマット…… 巻末付録2
●ハードウェアの取り外し手順…… 巻末付録8
●Mac OS での使用方法 …… 巻末付録10

**！ご注意ください！**

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

先頭ページへ

# 巻末付録

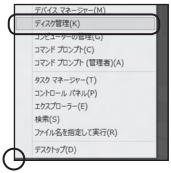
## 領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

**注意**

**この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。**
**消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。**

**1.**



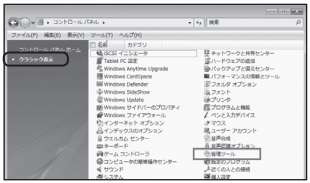

### □Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順.3にお進みください。

### □Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法:小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



### □Windows Vista

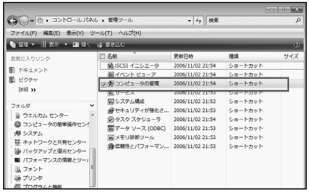
【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



先頭ページへ

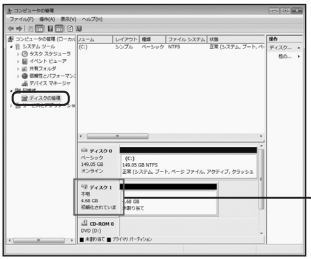
**2.**



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

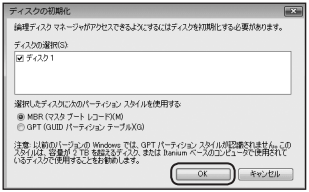
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウインドウが表示されます。
【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

**3.**



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

**4.**



【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

## 領域の確保とフォーマット（つづき）

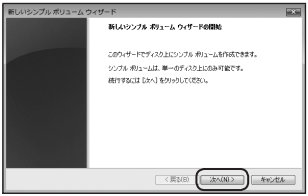
**5.**

【ディスクの初期化】が完了すると、ディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】するとポップアップメニューが表示されますので、【新しいシンプルボリューム】を選択します。

**6.**




【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

**7.**

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。



先頭ページへ

**8.**

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

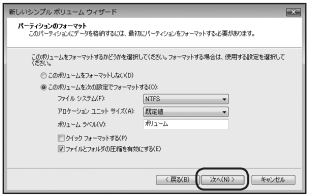
特に指定がなければ、空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

## 領域の確保とフォーマット（つづき）

**9.**

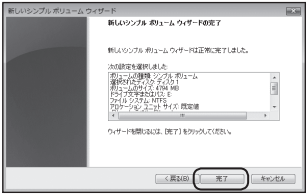



【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

- **ファイルシステム**
  NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
- **アロケーションユニットサイズ**
  パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。
  特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。
- **ボリュームラベル**
  マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
- **クイックフォーマットする**
  このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
  通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
  お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
  このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
  通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
  一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

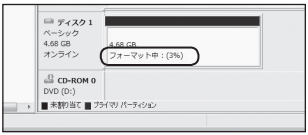
**10.**




【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

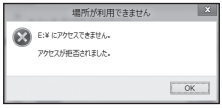
**11.**




これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。




- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

# 巻末付録

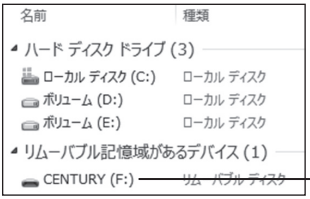
## ハードウェアの取り外し手順

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面は Windows 8 のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

**1.** 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。
例：ドライブ（F:）を取り外す場合

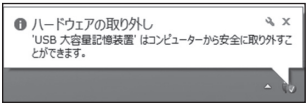



**2.** タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

**3.** **手順1**で確認したドライブレターのドライブをクリックします。

※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

**4.** 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



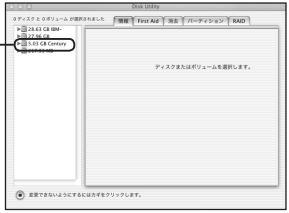
# 巻末付録

## Mac OS での使用方法

本項では Mac OS に新しいHDD/SSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

**注意** 安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

**1.**

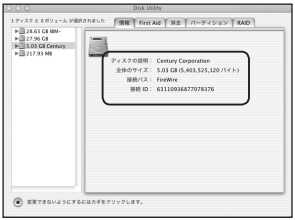



容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション＞ディスクユーティリティを起動します。
起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

**2.**




接続されているディスクの情報が表示されます。



先頭ページへ

**3.**

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
  「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

- **名前**：作成するボリューム名を変更できます。
  変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。Mac OS 標準、Mac OS 拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
  通常は Mac OS 標準か Mac OS 拡張を選択してください。

- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。

- **オプション**：Mac OS 9 ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9 で動作するドライバをインストールします。

- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

- **削除**：選択されているボリュームを削除します。

- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

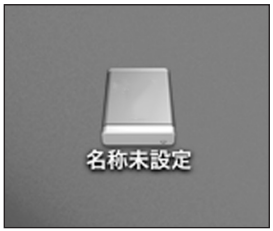
## Mac OS での使用方法（つづき）

**4.**

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

**5.**




パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

# 巻末付録

## サポートのご案内

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原(とよふたおきなはら)240-9

**TEL：04-7142-7533**
**FAX：04-7142-7525**
（受付時間：平日 午前10時～午後5時まで）

【URL】http://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

**〈お願い〉**
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

### 弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

このたびはセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記e-メールアドレス、またはURLにて受け付けております。
どうぞよろしくお願いいたします。

【Mail】call@century.co.jp
【URL】http://www.century.co.jp/support/contact/support.html

## — ご注意 —

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3．】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

先頭ページへ